

平成 25 年度当初予算 施策別取組概要

112 治山・治水・海岸保全の推進

(主担当部局 : 県土整備部)

11201	洪水防止対策の推進	(県土整備部)
11202	土砂災害対策の推進	(県土整備部)
11203	海岸保全対策の推進	(県土整備部)
11204	治山対策の推進	(農林水産部)

平成 27 年度末での到達目標

自然災害から県民の皆さんの生命・財産を守るための対策に着実に取り組む中、近年の災害による教訓をふまえ、緊急に対策が必要な施設の整備・改修や維持管理が行われているとともに、被害軽減に向けた市町・住民への的確な水防情報の提供など警戒避難に資するソフト対策が充実しています。

施策の数値目標

県民指標

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
自然災害への対策が講じられている人家数	目標値	-	234,300 戸	235,200 戸		237,100 戸
	実績値	233,200 戸				

各指標の H23 年度数値は現状値

目標項目の説明

河川、砂防、海岸、治山事業により自然災害から守られる人家数

活動指標

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
河川整備延長	目標値	-	463.6km	463.9km		464.3km
	実績値	463.4km				
土砂災害保全戸数	目標値	-	17,940 戸	18,040 戸		18,260 戸
	実績値	17,843 戸				
海岸整備延長	目標値	-	285.3km	286.3km		288.4km
	実績値	284.2km				
山地災害保全集落数	目標値	-	1,521 集落	1,537 集落		1,571 集落
	実績値	1,504 集落				

各指標の H23 年度数値は現状値

進捗状況（現状と課題）

- ・ 風水害や地震に対する安全性向上のため、河川・海岸・土砂災害防止施設の整備を進めています。しかし、安全度の低い箇所もまだ多く残っており、ハード対策のみによる防災には限界があることから、市町の警戒避難体制の整備を支援するためのソフト対策のさらなる推進が必要です。
- ・ 地震・津波に対して壊れにくい構造とするため、河川堤防については、津波浸水想定区域内の県管理河川堤防を対象に、損傷状況の概略調査を実施しました。調査区間のうち特に緊急性の高い河口部付近の堤防について、概略調査により対策の必要性が確認された箇所の設計に着手するとともに、さらに損傷範囲の特定や対策の必要性を確認するための詳細調査を実施しています。今後は調査結果に基づく計画的な補修・補強を実施し、機能確保を図ることが必要です。
また、海岸堤防等については、緊急な対応が必要な脆弱箇所を抽出し、対策工事を進めています。抽出した脆弱箇所について、計画的な補修・補強を実施し、機能確保を図ることが必要です。
- ・ 去年の紀伊半島大水害により発生した公共土木施設災害の早期復旧に引き続き取り組んでいます。また、治水上支障となっている河川堆積土砂の撤去を進めていますが、市町からの要望も多いことから、対象箇所の情報等を市町と共有しながら、より一層の取組を進めることが必要です。
- ・ 老朽化等により脆弱となった、ため池や排水機場等の基幹的農業水利施設について、地震や洪水等による災害に対する安全性向上のため整備を進めています。しかし、整備が必要な箇所は多く残されており、さらなる効果的・効率的な整備が必要です。
- ・ 治山対策については、紀伊半島大水害により発生した山地災害等の早期復旧に引き続き取り組んでいます。大型台風や集中豪雨等による被災箇所の復旧や機能の低下した保安林の効果的・効率的な整備が必要です。

平成 25 年度の取組方向

県土整備部

- ・ 河川・海岸・土砂災害防止施設については、効率的な施設整備により安全性の向上に努めます。また、市町による警戒避難体制整備や住民による安全での確な警戒避難行動を支援する情報について、分かりやすく、きめ細かな提供に努めます。
- ・ 地震・津波による被害が懸念されるため、河川堤防や海岸堤防について、空洞やひび割れのある脆弱箇所の計画的な補修・補強を進めます。
- ・ 紀伊半島大水害による公共土木施設災害については、一日も早い復旧に努めます。また、河川堆積土砂の撤去については、治水安全上の優先度や地元要望を踏まえ、対象箇所の情報を市町と共有し、箇所毎の優先度を市町にわかりやすく示す方法の検討を進め、優先度の高い箇所から取り組みます。

農林水産部

- ・ 脆弱な基幹的農業水利施設については、効率的な施設整備により安全性の向上に努めます。また、住民の避難行動を支援するため、避難路等の情報を提供し、安全意識の向上を促進します。
- ・ 治山対策については、効率的な予算執行に努め、紀伊半島大水害の災害復旧、山地災害危険地対策、機能の低下した保安林の整備等を進めます。

主な事業

県土整備部

河川改修事業【基本事業名：11201 洪水防止対策の推進】

予算額：(24) 3,174,230千円 (25) 2,777,162千円

事業概要：洪水等による災害から生命や財産を守るため、自然環境や生態系に配慮し、河川堤防の整備等を行います。

河川堆積土砂対策事業【基本事業名：11201 洪水防止対策の推進】

予算額：(24) 750,000千円 (25) 1,100,000千円

事業概要：流下能力を確保するために堆積土砂の撤去を行うとともに、豪雨などによる土砂堆積に迅速に対応する災害復旧のための事業費を確保します。

砂防事業【基本事業名：11202 土砂災害対策の推進】

予算額：(24) 3,179,190千円 (25) 3,080,980千円

事業概要：土石流等の土砂災害から生命や財産を守るため、土砂災害防止施設の整備を行います。

海岸事業【基本事業名：11203 海岸保全対策の推進】

予算額：(24) 2,896,500千円 (25) 2,854,000千円

事業概要：高潮、波浪、津波等による災害から生命や財産を守るため、海岸保全施設の整備等を行います。

農林水産部

基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業【基本事業名：11201 洪水防止対策の推進】

予算額：(24) 596,798千円 (25) 593,120千円

事業概要：局地的な集中豪雨等の災害から生命や財産を守るため、排水機場等の整備を行います。

治山事業【基本事業名：11204 治山対策の推進】

予算額：(24) 2,188,766千円 (25) 2,222,196千円

事業概要：山地災害の復旧、山地災害危険地対策による山地災害の未然防止や良質な水の安定供給など県民生活の安全を確保するため、治山施設整備を進めるとともに水源地域などの保安林機能を向上させるための森林整備を行います。